

「V2H充放電設備/外部給電器」の導入補助金の概要（令和5年度補正・令和6年度当初）

- 令和4年度補正予算・令和5年度当初予算においては、**申請受付開始から約2カ月で予算を超過する申請が入ったため、早期に申請受付終了**。そのため、設置ニーズがあるにもかかわらず申請できなかったものが多数存在すると考えられる。また、**申請の9割超が個人宅**で占められており、災害時のレジリエンスの確保に重要な公共施設、防災施設、医療機関等の申請は少数であった。
- 令和5年度補正予算・令和6年度当初予算においては、**昨年度より増額となる約60億円を措置し、「①公共施設/災害拠点」と「②個人宅/その他施設」の区分ごとに予算の配分**を行った上で**募集を2回**に分けて実施。また、区分ごとに補助率や補助上限額に差を設けることやEVの保有等を条件とすることなどにより、予算が限られる中でも、足下のニーズに応じて偏りなく幅広く予算が行き渡ることを狙いとする。

<V2H充放電設備の補助要件>

※補助要件の詳細や、外部給電器の補助要件については、今後事務局から公表される応募要領をご確認ください。

区分	設置場所	対象/主な要件	補助率	補助上限額
①公共施設/ 災害拠点	①-1：公共施設	地方公共団体等が保有・管理する施設（庁舎・公民館など）	機器：1/2 工事：1/1	機器：75万円 工事：95万円
	①-2：災害拠点	地方公共団体等との間で締結した「災害協定」に関する施設（医療機関、福祉・老人施設町内会施設など）		
②個人宅/ その他施設	②-1：個人宅	個人宅。ただし、EV等を保有または発注済みの場合に限る	機器：1/3 工事：1/1	機器：30万円 工事：15万円
	②-2：その他施設	上記以外の施設		

※昨年度からの変更点を赤字

予算の配分

区分	第1期	第2期	合計
①公共施設/ 災害拠点	10億円	5億円	15億円
②個人宅/ その他施設	30億円	15億円	45億円

※執行状況によって、配分の見直しの可能性あり。

執行スケジュール

	受付期間 (令和6年)	交付決定時期 (令和6年)	実績報告締切
第1期	6月中旬～7月中旬	7月～9月下旬	R6年11月末
第2期	8月下旬～9月末	9月～11月中旬	R7年1月末

※第1期、第2期いずれも申請日順に審査を行う。（選定方式ではない。）

また、予算額を超過する申請が入った時点で申請受付を中止する。

※上記は、現時点で想定しているスケジュールであり、変更の可能性あり。